



一中だより

浜田市立第一中学校 学校だより 第7号
令和6年11月21日(木)

〒697-0024 浜田市黒川町3745
TEL 0855-22-0946
FAX 0855-22-0947
E-mail dail@hamada.ed.jp



「新しい自分を見つけ出す」

校長 川田 英樹

11月7日は「立冬」。これより「立春(2月3日)」までの3か月が、暦の上で冬になります。日脚(ひあし：日が出てから、暮れるまでの時間)も目立って短くなっていきます。冬の大切な仕事は、春に備えてエネルギーを生み出すことです。以前、山梨学院大学駅伝部の上田前監督が大切にしている言葉を紹介しました。「何も咲かない寒い日は、下へ下へと根を伸ばせ」。基礎を固めることが成長の糧になるということです。みなさんの春からの飛躍を期待しています。

小雨の中、県中学校駅伝大会が10月23日に三瓶高原クロスカントリーコースで開催されました。女子は19チーム中7位、男子は23チーム中5位でした。また、一中の男子、女子とも浜田市チームとして市郡対抗に参加しました。男子は3km、女子は3km・2km、アップダウンの険しいコースを走り抜け、タスキをつなぎ、限界まで頑張りました。

「辛抱(しんぼう)」という言葉があります。日常生活で思うようにいかずに、気持ちがおしゃくしゃして人や物に当たった経験はありませんか。その時、我慢して辛抱できた人が人間として成長していきます。スポーツや勉強では、記録の向上や成績アップに、どうしてもこの重い辛抱というとびらを自分の手で開かねばなりません。この自分との戦いを耐え抜いた駅伝選手のみなさんの健闘を称えたいと思います。

今、体育の時間に持久走の授業が行われています。「辛抱」という字は辛さ(つらさ)を抱くと書きます。辛抱は辛く、避けて通りたいものです。でも、苦しい時にもうちょっと頑張ってみる。自分との戦いにチャレンジし、「辛抱」というとびらを自分で開け、今まで見えなかった新しい自分を見つけ出してほしいと思います。全校のみなさんで走る事の大切さを共有できることを願っています。

10月30日(水)に石央文化ホールで合唱コンクールを開催しました。たくさんの皆様にご来場いただき、ありがとうございました。保護者や地域の方から「感動」したという言葉いただきました。イギリスの首相であったチャーチルの言葉に「誠実でなければ、人を動かすことはできない。人を感動させるためには、自分が心の底から感動しなければならぬ。自分が涙を流さなければ、人の涙を誘うことはできない。自分が信じなければ、人を信じさせることはできない。」この言葉から感動させることの意義を考えてみてください。

どの学級も心の琴線にふれる合唱を披露してくれて素晴らしい一日となりました。



必ず
役立つ

家庭学習のポイント(社会編)

①自分で「かく」

教科書や授業プリントに載っている地図、年表、図などをノートにかきましょう。ノートにまとめるのが難しい、やり方がわからないという人はまずそのまま書き写すところから始めてみるといいと思います。

②何回も「繰り返す」

各学年それぞれ、先生から必要なワークやプリントが配られていると思います。定期テストや宿題などで課題として、ワークやプリントに取り組む時は、一回だけやって(答えを見ながら急いで○付け・・・という人もいるのでは?)提出するのではなく、間違えたところをもう一度やり直してみましょう。そしてまた間違えたところはもう一度・・・というように、何回も繰り返すことが大切です。

③いろいろなものを「見る」

今はインターネットを駆使すればすぐに情報が手に入る時代です。授業の内容で気になった情報を検索したり、動画サイトで映像を見たりすると、普段の授業で知ることがなかった豆知識や雑学などを知ることができ、理解の助けになると思います。

(社会科主任 大驛)



校内合唱コンクールを終えて



1年1組 鎌田 朋宏 (指揮)

私たちのクラスは普段とても元気がよく、この元気よさを全力で伝えたいと思い、「涙をこえて」という曲を選びました。「圧倒的な団結力と圧倒的な声量でグランプリを勝ち取る!」という目標のもと、音楽の授業や放課後練習など本番に向けて全力で取り組んできました。出だしの「こ」の発音に苦戦したり、笑顔が足りなかったりと課題もありましたが、段先生からアドバイスしていただいたことを徹底的に練習しました。直前のリハーサルではみんな声が出ておらず心配しましたが、本番前のリーダーからの一言で一致団結することができました。ステージではみんなが笑顔で楽しそうに歌っていて、指揮をする私も笑顔になりました。私たちの合唱を聴いていただき、ありがとうございました。

2年1組 石橋 蒼大 (指揮)

最初は声が小さく、音がとれていない人が多かったですが、放課後の練習の方法を先生やパートリーダーと相談し、音程がとれるように頑張りました。また、練習に乗り気ではなかった人も、コンクールが近づくにつれて前向きに取り組んでくれました。クラスでは「殻を破る」ことを目標にして、それぞれが何の殻を破るかを決めました。みんなで作ったお守りには、それぞれが本番前の自分に向けた応援メッセージを入れ、本番の時には心臓に一番近い胸ポケットに入れて歌いました。私たちのクラスは学年グランプリをとるためにたくさんの工夫をして協力しました。そして本番では、全員が全力を出し切ることができ、学年グランプリをとることができました。本当に良かったです。

3年2組 東 春花 (ピアノ)

私はこの合唱コンクールを通して、「本気で何かに打ち込むことの楽しさ」を実感しました。もし上手くいかなかったとしても、「全力を尽くすことができた」と自信をもって言えるように、練習期間を駆け抜けました。

クラスでは、「誰にどんなことを伝えたいのか」を一人ひとりが明確にし、どうしたらそれが伝わるのか、歌詞や歌い方を細かく分析して練習しました。本番の演奏で私たちの想いが伝わっていると嬉しいです。

クラスみんなで創りあげた合唱が、「コンクール大賞」という形で認められてとても嬉しいです。大変なこともたくさんあったけれど、一生の思い出に残る合唱コンクールになりました。

3年2組のみんな、ありがとう。

受験対策講座を行いました!

10月16日に、3年生は体育館で受験対策講座を行いました。「国・数・社・理・英」の5教科の担当教員がパワーポイントを使い「受験とはどういうもので、どういう勉強をしたらよいのか」「受験に向けての心構え」等、講義と演習を行いました。

体育館に自分たちでシートを敷き、教室の机と椅子を移動させて全クラス一斉に行う講座は初めての試みなので心配もありました。ところが、百人以上いるにも関わらず、しんと張り詰めた空気の中、真剣に聞き、メモを取る姿がありました。これから受験モードに切り替わっていくのだという緊張感が伝わってくる時間でした。

3年生は、週末にタブレットで5教科の課題を配信して、それを「受験の花道ノート」にやって提出するという試みを行っています。それに加えて、この受験対策講座で学んだことを生かして、より質の高い家庭学習につなげてほしいと考えています。

進学先は違っても、こうして一緒に高め合える仲間であってほしいと思います。(3年主任 福田)

